

愛知県自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質
総量削減計画における環境目標の達成状況等について

資料 1

1 環境目標等の達成状況の概要について

(1) 環境目標の達成状況

県内全域の、2023年度における環境目標の達成状況は以下のとおり。

項目	環境目標	達成状況
二酸化窒素	大気環境基準確保	一般環境大気測定局(61局)及び自動車排出ガス測定局(24局)の 全てで環境基準を達成 (2023年度)
浮遊粒子状物質	大気環境基準確保	一般環境大気測定局(60局)及び自動車排出ガス測定局(24局)の 全てで環境基準を達成 (2023年度)

(2) 自動車NO_x・PM排出量の目標量及び実績量

自動車NO_x・PM法対策地域の、2026年度（令和8年度）を目標年度とした排出目標量及び実績量は以下のとおり。

	排出目標量 (2026年度)	実績量 (2023年度)
窒素酸化物排出量(t/年)	16,117	9,376
粒子状物質排出量(t/年)	367	172



自動車NO_x・PM法対策地域※
(2001年11月1日現在の行政区画61市町村)

※自動車NO_x・PM法対策地域
自動車の交通が集中している地域で、
大気汚染防止法の規定のみでは
大気環境基準を確保することが困難
であるとして国に指定された地域。

図1 愛知県内の自動車NO_x・PM対策地域

2 環境目標等の達成状況の詳細について

(1) 二酸化窒素 (NO_2) の状況

1) 大気環境基準達成率は図2のとおり。

2023年度は、一般環境大気測定局（61局）及び自動車排出ガス測定局（24局）のすべてにおいて環境基準を達成した。

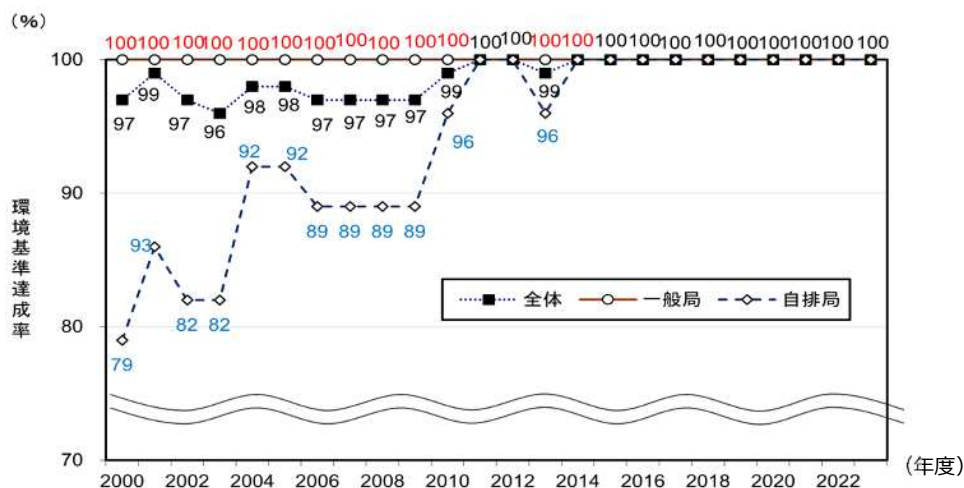


図2 愛知県内における二酸化窒素の環境基準達成率の推移

2) 二酸化窒素の濃度（年平均値）の推移は図3のとおり。

愛知県では全国と比較して年平均値が高い傾向にあるが、その差は小さくなってきており、自排局では全国とほぼ同水準となっている。

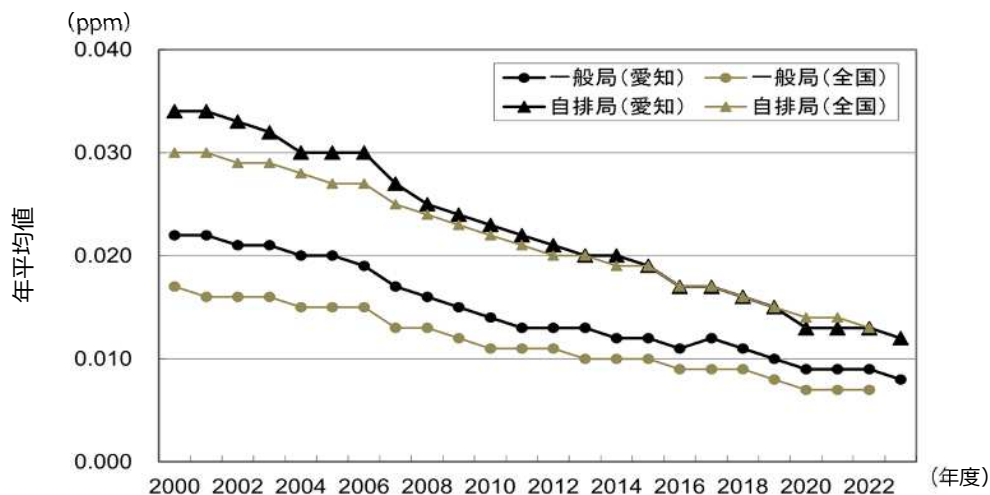


図3 二酸化窒素の濃度（年平均値）の推移

- 3) 対策地域内における窒素酸化物の自動車排出総量の推移は図4のとおり。
排出総量は順調に減少し、2017年度以降の排出総量は目標量を下回っている。



図4 対策地域内における窒素酸化物の自動車排出総量の推移

(2) 浮遊粒子状物質（SPM）の状況

1) 大気環境基準達成率は図5のとおり。

2023年度は、一般環境大気測定局（60局）及び自動車排出ガス測定局（24局）のすべてにおいて環境基準を達成した。

2007年度、2011年度のように達成率が大きく落ち込んでいる年は、黄砂の影響と考えられる。

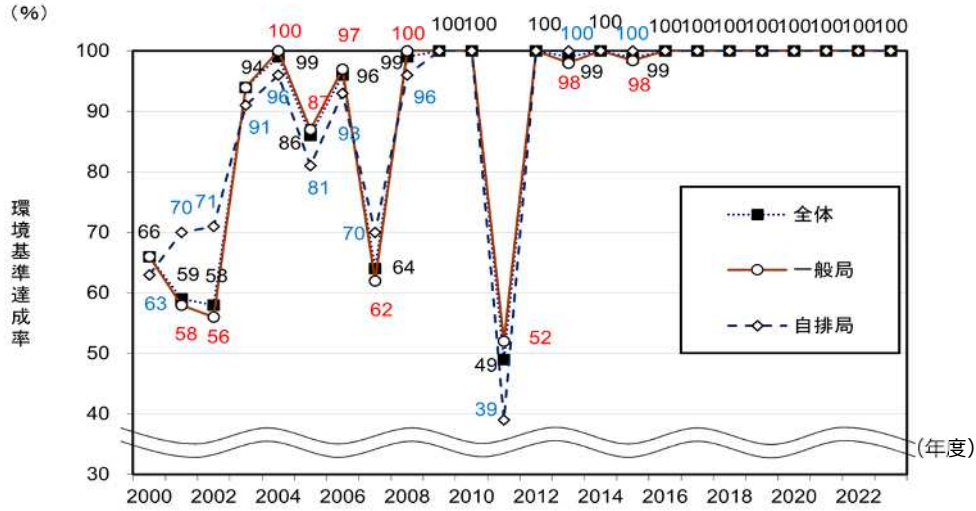


図5 愛知県内における浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

2) 浮遊粒子状物質の濃度（年平均値）の推移は図6のとおり。

愛知県では全国と比較して年平均値が高い傾向にあったが、その差は小さくなってきており、全国とほぼ同水準である。また、一般局と自排局の差もなくなりつつある。

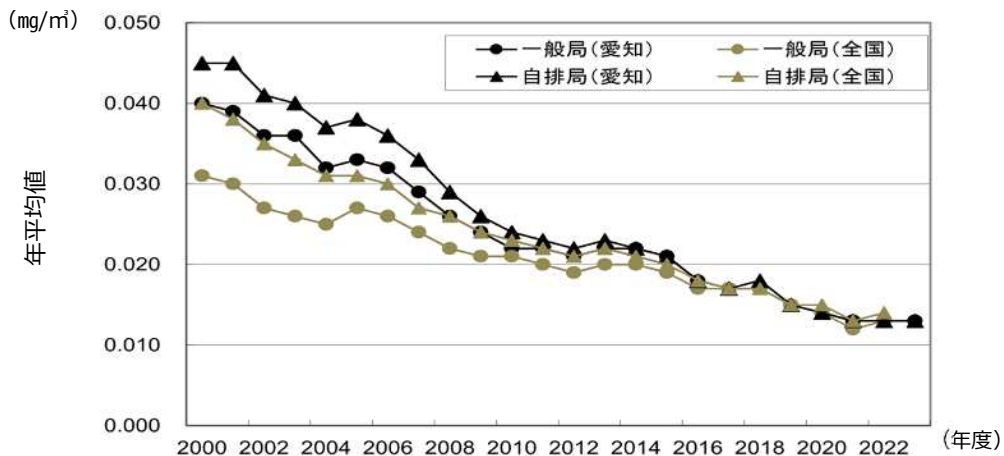


図6 浮遊粒子状物質の濃度（年平均値）の推移

- 3) 対策地域内における粒子状物質の自動車排出総量の推移は図7のとおり。
排出総量は順調に減少し、2019年度以降の排出総量は目標量を下回っている。

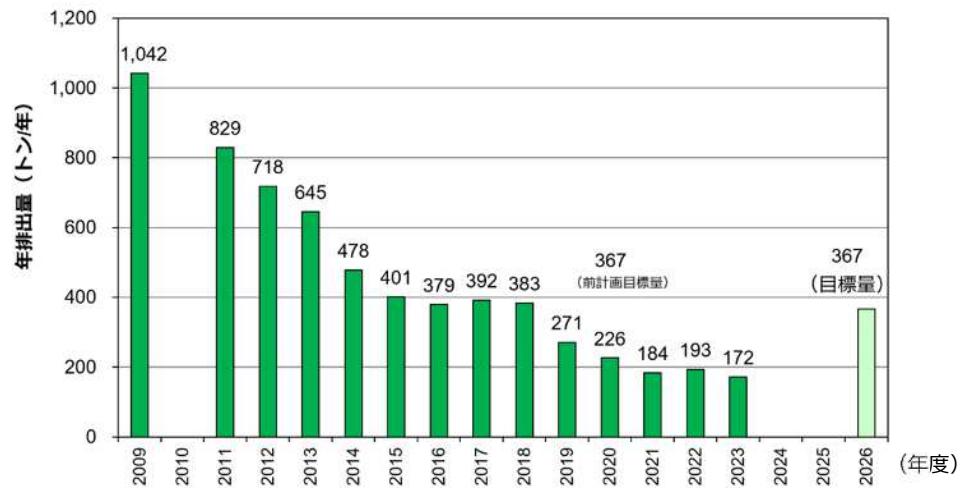


図7 対策地域内における粒子状物質の自動車排出総量の推移